

巡拝思ひ立ちぬ

河村郁子

コロナ禍の籠り居^{みとせ}三年策尽きて閉塞感のつり来るなり
常になき早き梅雨明けと猛暑とに体調及ばず^{しぼ}気力萎みつ
日中の36度超えにはとにかく心と体を休ませるのみ
ころび寝て本棚下段に目をやれば『武蔵野三十三所観音巡礼』

菩提寺が打ち始めとて求めしも仕舞ひしままに幾年経たりし
ひもとくに寺は西武線沿線にあり 通勤時から馴染みし私鉄
武蔵野の高野台地に住みしより六十余年の今にして知る
米の^{じゆ}壽の^{うらぼん}盂蘭盆を機に思ひ立つ気の向くままに巡るも良かれ
打ち初めは東高野山長命寺八角堂の十一面観音
般若心経の写経納めて巡りたし観音様と御目文字叶へむ